



多くの市民に出迎えられる太田市長

活気あふれる「新生匝瑳」実現に向け さらなる市政の充実と発展を

太田市長は2月26日に初登庁し、多くの市民と職員の手拍子・歓声に迎えられ、市長の職務に就きました。

3月12日開会の初の市議会に臨んだ太田市長は、所信表明の中で「市民の皆様を活性を引き出し、活気にあふれ、にぎわいのあるまち『新生匝瑳』の実現に向け、全力で市政運営に当たる」と力強く抱負を語りました。

市長所信表明（抜粋）

去る2月7日に執行された市長選挙において、多くの市民の皆様のご支援をいただき、第2代匝瑳市長として匝瑳市のまちづくりを託されました。誠に光栄であるとともに、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。

匝瑳市誕生から4年が経過しましたが、今後は、初代市長として新市の礎を築かれた江波戸辰夫前市長の後を引き継ぎ、さらなる市政の充実と発展を目指し、次世代に誇れ

る「新生匝瑳」を築き上げていく所存です。

「新生匝瑳」

3つの基本方針

私は、「新生匝瑳」を目指すに当たり、次の3つの基本方針を掲げ、匝瑳市総合計画で定めた本市の目指すべき将来都市像である「海・みどり・人がはぐくむ活力あるまち」の実現に向けたまちづくりに取り組んでいきます。

I 市民参加のまちづくり

「新生匝瑳戦略会議」を設置し、多くの市民の皆様のご意見が反映できる市民参加のまちづくりを実現します。

II 安心・安全のまちづくり

匝瑳市民病院の充実と広域医療システムの確立を図り、すべての市民の皆様が安心して暮らせる環境を整えていきます。併せて、子育てサポートシステム、乳幼児医療助成金の段階的拡大、学童保育の充実を図り、21世紀を担う子どもたちの夢を育む教育環境を確立し、希望ある豊かなまちづくりを実現します。

III 産業振興のまちづくり

厳しい経済状況の中で雇用の安定と雇用創出の実現を図るため、農業・水産業・植木産業・商工業・観光業の連携による地域経済の振興と地場産業の育成を図り、産業振興のまちづくりを実現します。

以上、3つの基本方針を実現するため、次の5つの重要施策を推進していきます。

5つの重要施策

① 医療・介護・福祉の充実

- ◆ 匠瑛市民病院に働く医師や看護師の安定確保を目指すため、旭中央病院に併設される「地域医療支援センター」を活用します
- ◆ 乳幼児医療費助成の対象を所得制限を設けずに中学校卒業まで段階的に拡大します
- ◆ 知的障害者や精神障害者が地域で安定して暮らせるよう「生活ホーム」などの運営費に対し助成します
- ◆ 福祉タクシーの利用者負担の軽減を図るため、助成金を増額します
- ◆ 事業所の倒産などにより離職された方の生活相談、支援体制を充実させます
- ◆ 支援が必要な高齢者の確かな把握に努め、地域支援事業と予防給付に努めます
- ◆ 保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援する、地域包括支援センターによる相談業務の充実を図ります
- ◆ 法人による特別養護老人ホームなどの老人福祉施設の整備促進を図ります

② 教育環境・子育て支援の整備

- ◆ 小学校低学年の多人数学級に補助教員を配置します
- ◆ 障害のある児童生徒に対して個別の指導・支援を効果的に行うため、学習支援補助教員の配置を拡大します
- ◆ 不登校や家庭内暴力といった問題を起こさせないため、スクールカウンセラーとの連携を充実していきます
- ◆ 学校給食は安心・安全を第一として、地元産物を利用した特色ある給食を推進します
- ◆ 地元食材の無農薬・低農薬化に取り組み生産農家の組織作りを行い、「食育環境」の充実を推進します
- ◆ 放課後児童クラブの時間延長と新たなクラブの開設を検討します
- ◆ つどいの広場の内容充実に努めます
- ◆ 保護者の経済的負担の軽減を図るため、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭を対象に、第3子以降の子どもの保育料の無料化や一時保育、延長保育など保育内容の充実に努めます

③ 地域産業と地域経済の活性化

- ◆ 匠瑛市産米「そうさの舞」

をはじめとした匠瑛ブランドの知名度アップに努めます

◆ 地元農畜産物の地産地消を推進するため、学校給食のほか、市内の飲食店などでの消費拡大に努めます

◆ 日本有数の植木のまちとして、様々な機会や媒体を通してPRに努め、知名度の向上と販路の拡大を支援します



初の市議会で所信表明を行う太田市長

- ◆ ふれあいパーク八日市場をこれまで以上に本市の農業の情報発信基地としての機能強化を図ります
- ◆ 都市と農村の交流を進めるため、遊休農地などを活用した市民農園の整備に努めます
- ◆ 歴史的建造物や遺産などを生かした特色ある商店街づくりを推進し、商業者や商工会と連携しながら商店街の活性化に取り組みます
- ◆ 「ゆめ半島ちば国体弓道競

技会」で多くの方が本市を訪れることから、特産品や見所などを積極的にPRし、本市の知名度アップに努めます

◆ 雇用維持などに取り組む中小企業事業主に対して「雇用維持対策補助金」を交付します

◆ ハローワークとの連携を強化し、より充実した求人情報の提供などに努めます

◆ 市内外から多くのサーファーが訪れている吉崎浜などの海岸線の観光振興を進めます

◆ 八重垣神社祇園祭をはじめとする民俗行事や歴史的建造物など既存の文化的資源の活用を図るとともに、地域の新たな魅力を掘り起こし、年間を通して集客力のある観光対策に努めます

④ 市民参加のまちづくり

- ◆ 飯高檀林跡に、観光協会と連携して観光ガイドを配置し、来客者へのおもてなしと販売ブースを活用した地場産品のPRなど、匠瑛市の魅力ある観光情報を発信しながら観光客の増加に努めます
- ◆ 市民による市民本位のまちづくりを実現するため「新生匠瑛戦略会議」を創設します
- ◆ 電子メールなどを活用した「まちづくりサポーター」を

立ち上げ、市民との対話と自由な意見交換に努め、市民の意見を反映できるまちづくりを目指します

◆ 広報そうさや匠瑛市ホームページなど行政からの情報発信の充実を図ります

⑤ 広域行政の協力・強化

- ◆ 匠瑛市、銚子市、旭市の3市で検討している広域ごみ処理施設について、候補予定地や効率的なごみ処理方法などに十分検討を加えます
 - ◆ 侵食が進む九十九里海岸の環境保全のため、海岸を管理する国や保安林を管理する県に対して、海岸保全事業の早期実施を積極的に要望します
- 以上、マニフェストでお示しました重要施策について、説明いたしました。今後は、行政サービスの質を維持しながら職員定数の適正化や非効率な事務事業の見直し、何を優先すべきなのかを慎重に見極め、財源の確保に努めるとともに、重点的に取り組む分野には優先して財源配分するメリハリのある財政運営に努めていきます。
- 市民の皆様のご理解とご支援を心よりお願いいたします。